

豊中市暮らし安心・安全見守りカメラ設置事業効果検証報告書(概要版)

I. 見守りカメラ事業について

1. 事業の概要

リース期間	①平成29年(2017年)3月～令和4年(2022年)2月【171台】 ②平成30年(2018年)3月～令和5年(2023年)2月【620台】 ③平成30年(2018年)11月～令和5年(2023年)10月【439台】
事業費 (令和3年度)	光熱水費:4,639,154円、機械等保守委託料:282,150円 機械器具借上料:48,148,452円、使用料:2,299,220円 合計:55,368,976円

2. 見守りカメラ設置事業の取組み状況【令和元年度(2019年度)～令和3年度(2021年度)の3か年における警察等捜査機関への見守りカメラ画像データの提供状況】

年度	窃盗	わいせつ	道路交通法違反	交通事故	声掛け等	詐欺	軽犯罪	不法投棄	行方不明	傷害	強盗	器物破損	動物愛護違反	公務執行妨害	建造物侵入	放火(未遂含)	誘拐(未遂含)	殺人(未遂含)	その他	合計
令和元年度	227	64	92	165	13	33	8	10	4	27	13	30	0	1	10	14	8	11	24	754
令和2年度	265	82	118	162	5	50	5	4	7	9	17	23	0	0	18	1	6	7	27	806
令和3年度	261	54	92	212	7	57	6	5	10	7	9	17	0	0	4	5	3	6	41	796

★捜査機関への画像データ提供件数における犯罪種別としては、「窃盗」「交通事故」「道路交通法違反」「わいせつ」「詐欺」が上位5つに上げられます。

II. 関連データによる分析

1. 犯罪認知件数の推移と大阪府内各市の比較

●犯罪認知件数の推移(平成27年(2015年)～令和3年(2021年))及び前年比

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015年	3,868	3,017	8,163	3,564	3,410	2,991	3,668	3,439	1,269	967	3,057	11,972	57,807	132,327
2016年	3,664	2,857	7,936	3,142	2,826	2,716	3,222	3,309	926	906	2,806	10,089	55,295	121,834
2017年	3,073	2,736	6,787	2,713	2,588	2,215	2,936	2,842	819	810	2,576	8,859	48,977	106,904
2018年	2,826	2,553	5,831	2,249	2,207	2,013	2,391	2,374	759	719	2,214	7,671	45,015	95,443
2019年	2,325	2,492	4,742	1,943	1,869	1,762	2,150	2,113	689	588	1,700	6,691	41,349	84,562
2020年	1,870	1,997	3,858	1,647	1,458	1,466	1,722	1,576	572	450	1,466	5,247	33,774	68,241
2021年	1,614	1,805	3,410	1,447	1,478	1,354	1,683	1,486	545	431	1,367	4,875	30,764	62,539

犯罪認知件数推移(前年比)各市別

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015-2016	0.95	0.95	0.97	0.88	0.83	0.91	0.88	0.96	0.73	0.94	0.92	0.84	0.96	0.92
2016-2017	0.84	0.96	0.86	0.86	0.92	0.82	0.91	0.86	0.88	0.89	0.92	0.88	0.89	0.88
2017-2018	0.92	0.93	0.86	0.83	0.85	0.91	0.81	0.84	0.93	0.89	0.86	0.87	0.92	0.89
2018-2019	0.82	0.98	0.81	0.86	0.85	0.88	0.90	0.89	0.91	0.82	0.77	0.87	0.92	0.89
2019-2020	0.80	0.80	0.81	0.85	0.78	0.83	0.80	0.75	0.83	0.77	0.86	0.78	0.82	0.81
2020-2021	0.86	0.90	0.88	0.88	1.01	0.92	0.98	0.94	0.95	0.96	0.93	0.93	0.91	0.92

★見守りカメラが全台稼働した次の年である令和元年(2019年)では犯罪認知件数が2,325件となり、前年比で0.82と効果が表れていますが、それ以降は他市と比べて大きな差はありません。

2. 犯罪種別における認知件数の推移(犯罪率推移)

犯罪率推移(各市別※人口1,000人あたり件数)

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015年	9.8	17.2	16.2	8.8	9.7	12.6	13.6	9.3	9.5	9.4	10.9	14.3	21.5	15.0
2016年	9.3	16.2	15.8	7.8	8.0	11.5	12.0	8.8	6.9	8.8	10.0	12.0	20.5	13.8
2017年	7.8	15.4	13.6	6.8	7.4	9.4	11.0	7.5	6.1	7.8	9.1	10.6	18.1	12.1
2018年	7.1	14.2	11.7	5.6	6.3	8.6	9.0	6.3	5.6	6.9	7.8	9.2	16.6	10.8
2019年	5.8	13.8	9.6	4.9	5.3	7.6	8.1	5.5	5.1	5.6	6.0	8.1	15.1	9.6
2020年	4.7	10.9	7.8	4.1	4.1	6.4	6.5	4.1	4.2	4.3	5.1	6.3	12.3	7.7
2021年	4.0	9.8	6.9	3.7	4.2	5.9	6.4	3.8	4.0	4.1	4.8	5.9	11.2	7.1

★全体的に犯罪率は減少傾向です。豊中市は政令指定都市を除くと他市と比べて際立った数字とはなっていません。

3. 犯罪検挙件数の推移と大阪府内各市の比較

●犯罪検挙件数の推移(平成27年(2015年)～令和3年(2021年))及び前年比

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015年	969	619	1,386	1,029	585	555	613	591	234	247	553	2,246	11,257	25,750
2016年	817	633	1,376	654	544	600	521	553	201	178	629	2,167	11,212	24,588
2017年	873	657	1,727	768	583	548	558	708	207	177	504	2,208	11,309	25,653
2018年	649	504	1,280	748	573	549	488	454	230	177	544	1,850	10,070	22,486
2019年	649	536	1,414	538	444	516	698	517	215	173	453	2,053	10,653	23,174
2020年	683	732	1,122	521	409	483	459	491	244	201	430	1,833	10,275	21,457
2021年	529	566	927	453	363	417	445	434	180	147	346	1,593	9,482	19,162

犯罪検挙件数推移(前年比)各市別

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015-2016	0.84	1.02	0.99	0.64	0.93	1.08	0.85	0.94	0.86	0.72	1.14	0.96	1.00	0.95
2016-2017	1.07	1.04	1.26	1.17	1.07	0.91	1.07	1.28	1.03	0.99	0.80	1.02	1.01	1.04
2017-2018	0.74	0.77	0.74	0.97	0.98	1.00	0.87	0.64	1.11	1.00	1.08	0.84	0.89	0.88
2018-2019	1.00	1.06	1.10	0.72	0.77	0.94	1.43	1.14	0.93	0.98	0.83	1.11	1.06	1.03
2019-2020	1.05	1.37	0.79	0.97	0.92	0.94	0.66	0.95	1.13	1.16	0.95	0.89	0.96	0.93
2020-2021	0.77	0.77	0.83	0.87	0.89	0.86	0.97	0.88	0.74	0.73	0.80	0.87	0.92	0.89

●犯罪検挙件数推移(6年前比)各市別

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015-2021	0.55	0.91	0.67	0.44	0.62	0.75	0.73	0.73	0.77	0.77	0.63	0.71	0.84	0.74

★犯罪検挙件数の比較ですが、豊中市は他市より低い数字であり、この数字からでは見守りカメラによる影響は見出すことはできません。

●検挙率推移(各市別※検挙率=検挙件数÷認知件数×100)

	豊中市	淀川区	東大阪市	枚方市	高槻市	寝屋川市	八尾市	吹田市	箕面市	池田市	茨木市	堺市	大阪市	大阪府
2015年	25.1	20.5	17.0	28.9	17.2	18.6	16.7	17.2	18.4	25.5	18.1	18.8	19.5	19.5
2016年	22.3	22.2	17.3	20.8	19.2	22.1	16.2	16.7	21.7	19.6	22.4	21.5	20.3	20.2
2017年	28.4	24.0	25.4	28.3	22.5	24.7	19.0	24.9	25.3	21.9	19.6	25.5	23.1	24.0
2018年	23.0	19.7	22.0	33.3	26.0	27.3	20.4	19.1	30.3	24.6	24.6	24.1	22.4	23.6
2019年	27.9	21.5	29.8	27.7	23.8	29.3	32.5	24.5	31.2	29.4	26.6	30.7	25.8	27.4
2020年	36.5	36.7	29.1	31.6	28.1	32.9	26.7	31.2	42.7	44.7	29.3	34.9	30.4	31.4
2021年	32.8	31.4	27.2	31.3	24.6	30.8	26.4	29.2	33.0	34.1	25.3	32.7	30.8	30.6

★検挙率は全体的に各市増加傾向です。これが見守りカメラによるものかは断定できませんが、要因の一つであると推測されます。

4. 警察の捜査における見守りカメラの活用

●被疑者検挙等に至った実績(件数)

年度	豊中警察	豊中南警察	合計
令和元年度(2019年度)	71件	25件	96件
令和2年度(2020年度)	68件	39件	107件
令和3年度(2021年度)	76件	88件	164件

＜被疑者検挙の事例＞

- * 見守りカメラから被疑者の逃走経路や使用車両が判明し、他の防犯カメラとの併用により検挙に至る。
- * 重傷ひき逃げで車両ナンバーや、運転手を特定する事ができ、他の防犯カメラとの併用により、潜伏先やその後の足取りが判明し、検挙に至る。
- * 公然わいせつ事案等では、犯行前後の画像確認や、逃走経路が確認でき、被疑者を特定すると共に目撃者の協力を得て検挙に至る。

＜公表された内容＞

- * 令和4年(2022年)8月25日に開催した市町村防犯担当者会議において、大阪府の令和3年度(2021年度)検挙件数は18,547件で、うち約6,000件が防犯カメラにより検挙されたと報告。

★見守りカメラのデータを活用することで、警察による犯罪の早期解決に役に立ち、再犯防止に役立っていると言えます。

5. 見守りカメラ画像提供にかかる地域性について

- 令和元年度(2019年度)から令和3年度(2021年度)の3か年の間、警察等捜査機関からの申請により画像提供をした見守りカメラの個数(小学校区別)
 - 校区単位での見守りカメラの提供数は南部や中部が多い(1校区あたり平均件数:北部176件、中部282件、南部426件、東部106件)。

6. 関連データによる分析(まとめ)

●(仮説)犯罪意図者に対して、犯行を諦めさせる

- 豊中市だけでなく、国及び大阪府の全体的傾向として、犯罪認知件数は減少。
- 豊中市が見守りカメラ全台設置後の令和元年度(2019年度)と平成30年度(2018年度)では犯罪認知件数が前年比0.82と設置当初は影響有。
- 「刑法犯全体、街頭犯罪(路上強盗を除く)、街頭犯罪以外(強盗を除く)」においては、平成27年(2015年)から令和3年(2021年)までの数字では減少傾向にあるが、他市と比べてそれほど大きな変化はなし。
- 「強盗・放火・暴行・傷害」においては、減少傾向ではあるものの、窃盗に比べて下げ幅は大きくなく、年によっては前年を上回る場合もあり。
- 「詐欺」においては、特殊詐欺がここ数年増加傾向であり、犯罪率においても令和3年(2021年)は前年を上回る数字となっている。

★見守りカメラによる犯罪抑止効果については確証ができません。また他市との比較でも、犯罪減少が見守りカメラによる影響であるのかが断定はできず、見守りカメラ以外の要因も含まれていると推測されます。

●(仮説)犯罪が発生した場合、犯人検挙に大きな手がかりとなる

- 豊中市では、警察が見守りカメラを活用することで、被疑者検挙等に至った数字はここ数年増加傾向。
- 豊中警察、豊中南警察からも、見守りカメラ設置後運用していく中で、見守りカメラが犯罪解決に役に立っているという報告有。

★「犯罪が発生した場合、犯人検挙に大きな手がかり」については、見守りカメラが大いに貢献していると言えます。

III. 見守りカメラに関するアンケートについて

1. アンケート内容と対象

	市民アンケート	防犯協議会支部長へのアンケート
調査対象	豊中市民	豊中及び豊中南防犯協議会支部長
調査方法	豊中市電子申込システムで入力(WEB回収)	郵送またはFAXにて回答
調査期間	令和5年(2023年)1月4日～1月31日	令和4年(2022年)10月15日～11月25日
回収数	663件	37件(回答率:82.2%)

アンケートの分析	【1. 見守りカメラの認知度】
	○市民アンケートでは「全く知らない」が1/3強をしめており、見守りカメラをより広く周知することが求められます。
	【2. 防犯カメラの効果】
	○市民アンケートでは「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が約3/4を占めており、市民の意識としては、防犯カメラは地域の治安改善や犯罪減少に役に立つ効果があると考えられています。
	○防犯協議会支部長アンケートでは「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が約95%を占めており、防犯協議会支部長の方々は、市が設置した「見守りカメラ」は地域の治安改善や犯罪減少に役になっていると考えられています。
	【3. 市の防犯カメラで防止できるとする犯罪等の行為】
	○ひったくりなどの路上犯罪が市民アンケート、防犯協議会支部長アンケートでも1位を占めており、他にもわいせつ、窃盗関係が多くを占め、防犯カメラは様々な犯罪に対して抑止力があると思われています。
	【4. 防犯カメラとプライバシー】
	○市民アンケートでは、「まったく気にならない」「あまり気にならない」をあわせて約3/4と多くを占めており、多くの方が公共の場における防犯カメラ撮影についてプライバシーをあまり気にされていないと言えますが、「とても気になる」「少し気になる」とあわせて約15%あり、プライバシーについて気にされている人も一定おられると言えます。
	【5. 市の防犯カメラを現状より増やすべきか】
	○「現状より増やすべき」が市民アンケートでは約8割、防犯協議会支部長アンケートでは約6割5分と多くが防犯カメラ増設を希望しておられます。
	【6. 屋外の公共の場所に防犯カメラを設置する場所】
	○防犯カメラを設置する場所については、「通学路」「公園の中」「車の通行が多い場所」が多くなっています。

2. アンケート内容(一部抜粋)

No	質問	市民アンケート	防犯協議会支部長アンケート
1	豊中市では、平成28年度より通学路を中心に防犯カメラ(通称「見守りカメラ」)を各小学校区平均30台、計1,230台を設置していますが、知っていますか。	1. よく知っている 12.2% (81人) 2. ある程度知っている 26.1% (173人) 3. 聞いたことはあるがよく知らない 25.6% (170人) 4. 全く知らない 36.0% (239人)	
2	市が設置した防犯カメラは地域の治安改善や犯罪減少に役に立っていると思いますか。	1. そう思う 33.0% (219人) 2. どちらかといえばそう思う 41.3% (274人) 3. どちらかといえばそう思わない 8.0% (53人) 4. そう思わない 3.9% (26人) 5. どちらともいえない 13.7% (91人)	1. そう思う 67.6% (25人) 2. どちらかといえばそう思う 27.0% (10人) 3. どちらかといえばそう思わない 2.7% (1人) 4. そう思わない 2.7% (1人) 5. どちらともいえない 0% (0人)
3	屋外の公共の場所に設置された市の防犯カメラで防止できるとする犯罪などの行為は何ですか。(※複数回答可) 【※上位5件抜粋掲載】	1. ひったくりなどの路上犯罪 78.6% (521件) 2. ちかん、盗撮などのひわいな行為 65.0% (431件) 3. 自転車・バイクなどの盗難 59.4% (394件) 4. 声かけ、つきまといなどの迷惑行為 57.9% (384件) 5. 空き巣などの侵入犯罪 57.0% (378件)	1. ひったくりなどの路上犯罪 75.7% (28件) 2. 空き巣などの侵入犯罪 54.1% (20件) 3. ちかん、盗撮などのひわいな行為 48.6% (18件) 4. 自転車・バイクなどの盗難 40.5% (15件) 5. 声かけ、つきまといなどの迷惑行為 35.1% (13件) 6. 交通事故 35.1% (13件)
4	防犯カメラが道路などの公共の場所を撮影していることで、個人のプライバシーを監視されているような気になりますか。	1. とても気になる 3.0% (20人) 2. 少し気になる 12.8% (85人) 3. どちらとも言えない 10.3% (68人) 4. あまり気にならない 40.1% (266人) 5. まったく気にならない 33.8% (224人)	
5	屋外の公共の場所に設置する市の防犯カメラを、現状より増やすべきだと思いますか。	1. 現状より増やすべき 79.6% (528人) 2. 現状のままよい 10.1% (67人) 3. 現状より減らすべき 0.3% (2人) 4. わからない 10.0% (66人)	1. 現状より増やすべき 64.9% (24人) 2. 現状のままよい 29.7% (11人) 3. 現状より減らすべき 0% (0人) 4. わからない 5.4% (2人)
6	屋外の公共の場所に市が防犯カメラを設置する場合、どこに設置してほしいですか。(※複数回答可)	1. 通学路 79.9% (530件) 2. 公園の中 70.0% (464件) 3. 車の通行が多い場所 60.8% (403件) 4. ゴミの不法投棄が多い場所 50.1% (332件) 5. 駅前 41.3% (274件)	1. 通学路 64.9% (24件) 2. 車の通行が多い場所 64.9% (24件) 3. 公園の中 56.8% (21件) 4. ゴミの不法投棄が多い場所 48.6% (18件) 5. 駅前 18.9% (7件)

IV. 見守りカメラ事業の効果について

1. 見守りカメラ事業の効果について

- 「犯罪抑止効果」については、犯罪認知件数等の推移を確認しましたが、見守りカメラによる明らかな犯罪抑止効果を認めることはできません。
- 「犯罪早期解決」については、警察への画像提供件数や検挙件数などから役に立っていることは今回の検証で明らかになりました。また、カメラの使われ方として、犯罪発生場所をおさえるだけでなく、犯行前の行動や逃走先の捜査に多く使用されていることが分かりました。

2. 今後の見守りカメラ事業について

- 今回の検証では、見守りカメラによる犯罪の抑止効果については直接的なものを見出すことはできませんでしたが、犯罪の早期解決につながっていることは警察からのデータや報告等で役立っていると言えます。
- アンケート結果からも、多くの市民の方が見守りカメラの増設を求めています。一方見守りカメラにかかる費用も多くかかることから、今後見守りカメラを更新する際は、地域の状況変化や犯罪状況などに応じて設置場所を検討し、より必要な場所に見守りカメラを設置することが効果的と言えます。